

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・後期・A群
	対象学科・専攻	都市環境デザイン工学科
情報処理 ( Information Processing )	担当教員	内田 一平 (Uchida, Ippei)
	教員室	土木工学科棟2階 (Tel. 42-9117)
	E-Mail	uchida@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 15回	
〔本科目の目標〕 本科目は、計算機システムに慣れ親しむとともに、Windows パソコンの基本的な操作方法を習得し、それらの利用方法および使用上の注意点を学習することを目的としている。		
〔本科目の位置付け〕 本科目は、2年生以上で学習する情報処理系科目(情報処理 ・多変量解析)ならびに設計製図関連の科目の基礎となる科目である。また、本科目で修得するソフトウェアの操作方法は、工学実験や卒業研究などレポート・論文の作成には必要不可欠である。		
〔学習上の留意点〕 本科目は演習を通じて修得する事柄が多いため、積極的に学習に取り組み、疑問点があれば、その都度授業担当者に質問してその疑問点をその場で無くす努力をすること。事情があり欠課する場合は、欠課明けに授業担当者まで配布プリントの有無と次回授業までに完了させるべき作業内容を確認すること。 また、授業要目毎にレポートを課すが、提出ルールや提出期限を厳守すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1.オリエンテーション	2	現代社会における情報処理の必要性を理解する。 パスワードの重要性を理解し、パスワード管理および変更ができる。
2.Windows系PC基礎		
2-1.PCの構成要素と仕組み	2	PC の各部名称とその役割を理解し、適した使い方ができる。 OS(Windows)とアプリケーションソフトの関係を理解する。
2-2.PC・アプリケーションの起動と終了、ウィンドウ操作	2	PC の起動と終了およびOS へのログオンとログオフ作業ができる。 アプリケーションソフトの起動・ウィンドウ操作・終了ができる。
2-3.入力デバイス	2	入力デバイスの特質を理解し、正しい使い方に近づける。 日本語変換の方法と代表的なファンクションキーを利用できる。
2-4.ファイル操作	2	フォルダーおよびファイルの概念を理解する。 フォルダーおよびファイル操作の作成・コピー・移動・削除ができる。 フォルダーを使ったファイル整理法を理解し、実行できる素養を養う
3.通信基礎		
3-1.ネットワーク基礎知識 ---後期中間試験---	2	サーバとクライアントの概念とその役割を理解する。
3-2.インターネット入門	2	授業項目3-1 までについて達成度を確認する
3-3.情報伝達	2	Web ページアドレスからドメイン名の構造を理解する。 Web 検索サイトを用いて情報の検索・絞り込み方法を理解し、実行できる。 Web 情報の信憑性に関して理解し、適切に情報収集を行う素養を養う。
4.アプリケーション基礎操作		
4-1.ワープロ(MS-Word)	6	電子メールの送受信ができる。 ビジネスメールのルールを理解し、実践できる。 ファイルの新規作成・保存(上書き保存)ができる。 文字の入力・修飾・ルーラーを操作し、文字列の書き出し位置を変更できる。 罫線・外部ファイル挿入機能を利用して、文章が作成できる。 周辺機器(プリンタ・デジカメ)を利用することができる。
4-2.プレゼンテーション(Ms-PPT1) ---後期期末試験--- 試験答案の返却・解説	6	パワーポイントの基本的操作方法を理解し、資料を作成することができる。 人を引きつけるプレゼン資料の作成のコツを理解し、実践できる素養を養う。 授業項目3-2以降の達成度を確認する。 各試験において間違った部分を理解できる。
〔教科書〕やさしくわかるExcelVBAプログラミング 第3版 鍛治 優 他2名 ソフトバンククリエイティブ		
〔参考書・補助教材〕授業時配布プリント(講義内容の要旨・ファイルを用意すること)		
〔成績評価の基準〕中間試験および期末試験成績(50%) + レポート(50%) - 授業態度(20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕3-b		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		